

P.10

10代の若者であると同時に世界的に有名なバイオリニストであるなどということが、果たして可能なのだろうか？

五嶋龍は、それに成功した。

succeed [動詞] 成功する

彼は、1988年ニューヨークで生まれた。

彼がたった1歳のとき、彼の素晴らしい音楽センスは両親に彼を誇りに思わせた。

amazing	[形容詞]	驚くべき
sense	[名詞]	センス
proud	[動詞]	誇りに思う

【文章構造:S+V+O+C】

~, his amazing sense of music made his parents proud of him.  
S V O C

S+V+O+Cで「SがOをC(の状態)にVする」という構文。  
第5文型の文である。第5文型では、「O=C」の関係が成り立つ。

たった4年後、彼は札幌でのコンサートのデビューを飾った。

debut [名詞] デビュー

すぐ彼は、オーケストラと世界中を旅していた。

orchestra [名詞] オーケストラ

しかし、龍が年をとるにつれて、人生はより困難となった。

彼は2つの文化の間で板ばさみになった気分だった。

trap [動詞] 閉じ込める

一方では、彼は空手で黒帯を持っていた。

もう一方では、彼はエレクトリック・ギターを演奏することを楽しんだ。

electric [形容詞] 電子の

アメリカで教育を受けたため、彼の使用的な考え方は時に親の日本的な考え方と異なった。

educate [動詞] 教育する

広島、長崎、そして沖縄を訪れた後、龍は日本に対してより深いつながりを感じた。

connection [名詞] つながり

同時に、世界平和が彼にとってますます重要になった。

彼は自分が、平和のメッセージを私たちに送れると悟った。

realize [動詞] 悟る

彼は、観客に自分の音楽のグローバルな視点を理解して欲しいと願った。

global [形容詞] 国際的な

**【POINT】**

He **wanted** audiences **to understand** the global view in this music.

[want+O(目的語)+to 不定詞]で、「Oに～してもらいたい」という構文。  
wantの他にも、ask, tellなどの動詞にこの構文が用いられる。

彼は、ニューヨークのグランド・ゼロ、南アフリカ、そして東京でユニセフのために演奏した。

Grand Zero [名詞] グランド・ゼロ

South Africa [国名] 南アフリカ

UNICEF [名詞] 国連児童基金、ユニセフ

龍はまだ若いが、彼の音楽はいたるところで観客に影響を与えている。

influence [動詞] 影響を与える